

避難の心得10ヶ条（注意事項）

避難所までの経路に危険箇所がないか、日頃から確認しておきましょう。

1

天候や災害状況、避難等の情報に注意し、浸水が始まる前に、早めの避難をお願いします。



2

避難の呼びかけに注意してください。



3

避難する前に電気、ガス、火種を消してください。

電気はブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める。



4

非常持出品は最小限に！

荷物は背負い、両手は空けておきましょう。



5

長靴は水が入ると歩きにくくなります。運動靴をはきましょう。

脱げにくい靴を選ぶ。



6

歩きやすい服装で、二人以上で避難してください。

傘は使用しないで、雨合羽等を使用する。



7

浸水箇所での避難は、側溝やマンホールに注意しましょう。

杖などで安全を確認しながらゆっくり歩く。



8

お年寄りや障害のある方などの避難の手助けを！

声かけをしましょう。



9

車での避難はひかえてください。

渋滞での立ち往生や、水没などの危険がある。



10

もしも逃げ遅れたときは、近所の丈夫な建物の上の階に一時的に避難してください。



避難時のポイント

落ち着いて正確な情報を入手することが大切です。避難中は慌てずに、ルートを確認しながら避難してください。